

戦略的な情報をタイムリーに活用するツールとしてQlikViewを採用
本格的なデータ分析を通じて新たな発見を促進

“
従来、担当者の主観に依存していた利益分析も、
データに裏付けられた確かな情報として把握できることで、
新たな発見が促進されることを期待しています。
”

丸美屋食品工業株式会社
情報システム部 情報システム課
係長 中島俊浩 氏

ふりかけ市場でトップの 総合食品メーカー

丸美屋食品工業は、前身である丸美屋食料品研究所(昭和2年創業)の事業を継承し、ふりかけ専業メーカーとしてスタートしました。80余年にわたり、「今日もおいしく」をコンセプトに、そして手頃な価格での提供をモットーに、家庭の食卓に便利でおいしい食品を提供することで、総合食品メーカーとして成長してきました。ふりかけのトップメーカーである同社は、創業以来、「のりたま」、「麻婆豆腐の素」、「釜めしの素」など多くのヒット商品を生み出し、各市場でのナショナルブランドメーカーとして高く認知されています。のりたまをはじめとする「ドライふりかけシリーズ」、おむすび作り便利な「混ぜ込みわかめシリーズ」は、毎日のごはんを彩るおいしさで親しまれています。最近では、「家族のお茶漬けシリーズ」が話題となり、おかずに近いご飯のお供で「ふりかけなのにふりかけない」「のっけるふりかけ」が、具材感やしっとり感で好評を得ています。また、お好みの麺にかけるだけで、ご家族で気軽に、おいしく、食べられる「かけうま麺用ソースシリーズ」など、様々なジャンルのラインアップを取り揃えています。

旧BIツールの制約から 情報系システムをリプレース

丸美屋食品では、2000年よりERP(販売・物流システム・生産システム・購買システム)を導入し、営業部門における売上データの分析、生産・仕入・原価データの抽出・分析などにBIツールを活用してきました。しかし、そのツールを5年ほど使い続ける中でいくつかの課題が出てきました。

情報システム部 部長・竹村稔氏は、「戦略的な情報活用による売上確保、市場調査データや経理部門が保有するデータとの連携を視野に入れた分析を実現するには、既存ツールは力不足でした。そこで費用対効果の高い新たなBIツールの導入を検討しました」と背景を説明します。

社内的には、サーバの老朽化と、旧BIツールはユーザーライセンス追加の度にコストが掛かる点が問題でした。一方、外的な問題として、データベースと旧BIツールのサポート終了(最新OSに非対応)という背景がありました。加えて旧BIツールは、データを参照できる期間の制約で1年以上のデータ表示に未対応、画面表示までの待機時間が長いといった点も課題でした。

「画面表示までの待機時間は1画面当たり15秒ほど掛かり、これが積み重なると相当重い処理になります。例えば、年間売上データからの抽出では数十分にも及ぶことがあるため、旧BIツールでは一定以上の大量データ処理を禁じていました」と情報システム課 主任・高橋てるみ氏は課題を述べます。

情報システム部では2005年より様々なBIツールをテスト使用して検討を重ねてきました。そして2010年に、ハードウェアを含めた既存の情報系システムのリプレースに本格的に着手すると共に、3つのBIツールへの絞り込みを行いました。

操作性、高いレスポンス 開発の容易さを要件にツールを選定

同社では、次期BIツールを選定するにあたって、インターフェースに優れ、利便性が高く、レスポンスが速く、開発が容易であるといった要件を重視しました。候補となった3つのBIツールを比較する中、旧BIツールの機能(帳票の保存・データ軸の入れ替え)が踏襲できること、安定したメーカーサポートが受けられて、サポート切れやツールのシェア縮小の可能性が少ないこと、操作が簡単であること、異なるデータソースを取り込みでき、それらを連携させて活用できるなどの条件を最も高いレベルで満たしていたのがQlikViewでした。

「QlikViewは、Webシステムでありながら、旧BIツール(クライアントサーバシステム)以上の操作性の高さが3つの製品の中でも突出していました。また、ユーザーができる限り、違和感なく使用できることが、今回のリプレースの

ソリューション

丸美屋食品工業株式会社

1951年創立の総合食品メーカー。ふりかけのトップメーカーで、また、麻婆豆腐の素、釜めしの素、お茶漬け、レトルトカレーなど加工食品を製造・販売している。

業種

食料品

地域

日本

支店・営業所/20カ所、工場/1カ所

利用者

営業部門を中心に、生産・管理部門など

課題

旧BIツールのサポート終了(最新OSに非対応)とサーバの老朽化
データの参照期間に制約がある(1年以上のデータ表示に未対応)
画面表示までの待機時間が長く、大量データを高速処理できない

対策

大量データの高速処理が可能で、ユーザー自身が直感的な操作でデータ抽出や絞り込み分析が行えるQlikViewを採用。

効果

従来は20分を要した膨大なデータ処理がわずか数秒で完了。扱えるデータも以前の過去1年から5年分に拡大し、経営・事業を側面から強力に支援。本当の意味での“分析”が実現した。

データソースとシステム

Oracle, MS Access, MS Excel
Microsoft Windows Server

QlikTechパートナー

株式会社アシスト

アシスト

今日もおいしく

丸美屋

